

2012年10月19日
JX日鉱日石開発株式会社

各位

オーストラリア北西大陸棚における探鉱区権益の取得について

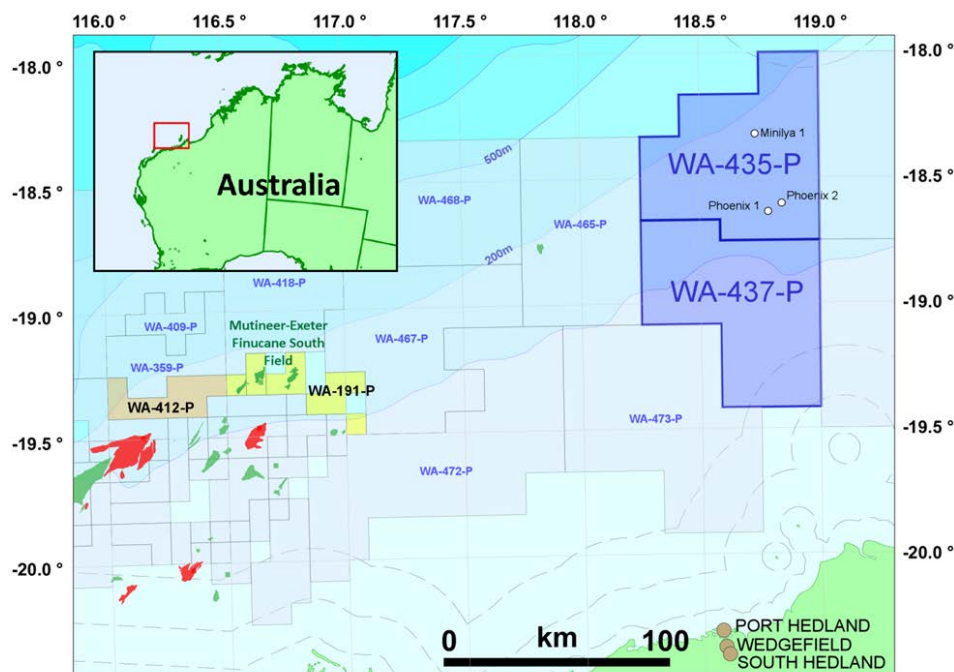
当社（社長：平井 茂雄）が100%出資する豪州法人 JX Nippon Oil & Gas Exploration (Australia) Pty Ltd（社長：飯田 信康、以下「JXオーストラリア」）は、ファインダー・エクスプロレーション社（以下「ファインダー社」）およびカーボン・ペトロリウム社（以下「カーボン社」）から、オーストラリア北西大陸棚海域の探鉱区「WA-435-P 鉱区」および隣接する「WA-437-P 鉱区」の権益の20%をそれぞれ取得することとなりましたのでお知らせします。

本鉱区では、天然ガスの埋蔵が期待される2つの地質構造の存在が確認されており、今後の探鉱作業として、まず WA-435-P 鉱区において 2013 年中に試掘井 1 坑を掘削する予定です。

当社は、オーストラリア北西大陸棚海域において、生産中のムティニア・エクセター油田や、2013 年下期の生産開始に向け開発中のフィヌケイン・サウス油田など、石油・天然ガスの生産・探鉱活動を積極的に推進しております。今後も石油・天然ガス開発事業の着実な拡大に向けて、一層の努力を続けてまいります。

【新規取得鉱区の概要】

1. 鉱区名	WA-435-P	WA-437-P
2. 鉱区面積	約 4,955km ²	約 4,855km ²
3. 権益比率 (両鉱区とも同比率)	JXオーストラリア (20%) アパッチ社 (40%) (オペレーター) ファインダー社 (20%) (譲渡前:30%) カーボン社 (20%) (譲渡前:30%)	



取得鉱区の位置

以上